

## 自然とのふれあいを目的とした観光及び旅行者意識に関する研究

### 研究の概要

広く自然体験を目的とした観光について、主に観光客を対象とするアンケート調査等の定量的アプローチを用いた実証的研究を行っています。また、調査の結果をもとに観光振興、滞在型観光、地域課題の解決に向けた政策、施策について考察、提言を行っています。その他、文献（web、紙媒体問わず）、GIS、現地調査等を活用して研究を進めています。

研究のフィールドとしては、自然の優れた風景地である自然公園、特に国立公園を主な対象として研究を展開してきており、山岳・湿原・海岸等を対象とした研究業績があります。特に、エコツーリズム等の環境教育や観光拠点施設としての役割を担うビジターセンターについては、その現状と課題から、展示内容、立地特性、利用者ニーズ、利用効果、利用促進策、官民連携の影響や経営についてまで多角的な研究を行ってきました。その他、都市公園や温泉地、災害被災地、道の駅等をフィールドとしてきました。



多様な自然景観と温泉等の人文景観で知られる八幡平

### 研究の特徴

観光地、観光施設等の計画や今後のあり方を検討するにあたっては、観光客側のニーズ、需要を把握することが重要です。多くの地域で観光客に向けたアンケートが実施されていますが、技術面から、必ずしも効果的な調査が行われているとは言えない現状があります。そして、高度情報社会を迎えた今日では、観光客がweb上で発信するクチコミ等もマーケティングに向けた重要な情報資源と言え、テキストマイニング等の活用による観光施策の検討も有効な方法論の一つと言えるかと思えます。私は本学で観光統計の教員として勤務しておりますが、上述してきたような統計的なアプローチによって課題達成をお手伝いできればと思えます。

### 行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ・岩手県八幡平市 八幡平温泉郷来訪者の現状分析と今後の観光振興策の提案

### 研究者からのメッセージ

大学教員になってから日が浅いこともあり、産官学連携の経験も少ないですが、研究テーマと関係ないものでも対応できる場合もありますので、お力になれそうなことがありましたらお気軽に連絡いただければと思います。

研究分野 : 旅行者意識, 環境教育, 公園計画

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 観光学科・助教・佐々木啓

本件に関するお問い合わせ : [liaison@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:liaison@ml.wakayama-u.ac.jp)